

1. 平成28年度(2016)経常収支:1億1,712万円の黒字

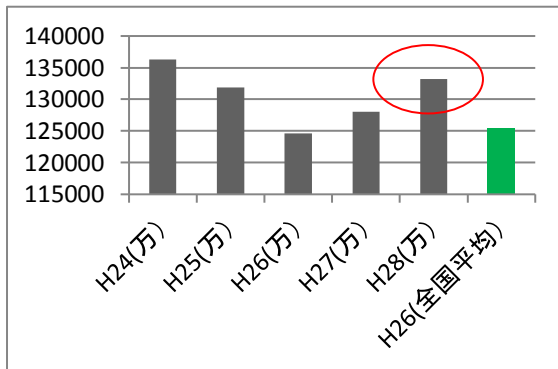
6月28日に開催されたキッコーマン健康保険組合会で平成28年度決算が承認されました。
 平成28年度は、キッコーマンソイフーズ(株)が事業所編入したこと、短時間労働者の社会保険適用拡大の影響で加入者が増えました。(年度末加入者数4,647人⇒5,849人)
 そのため、収入・支出は増えましたが、いずれも予算比99%となり、経常収支は予算比103%、前年度比162%の1億1,712万円の黒字となりました。

しかし、支出のうち保険給付費(医療費など)をみると、予算を3%超過しており、特にキッコーマンソイフーズ社分を除く旧事業所の分が前年よりも10%も増えてしまいました。(キッコーマンソイフーズ社分は予算比91%、旧事業所分は予算比106%)
 また、今後は高齢者医療を支援する拠出金が更に増えていく見通しです。

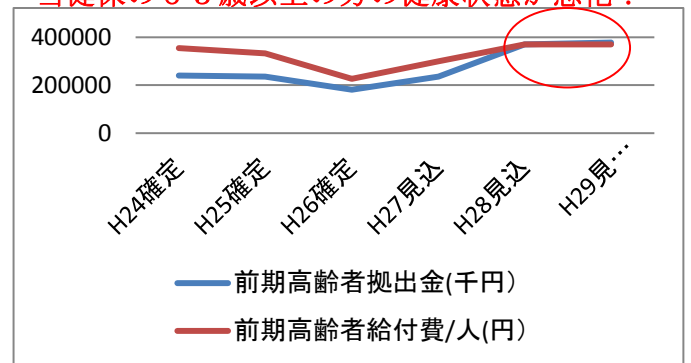


2. H30年度以降は毎年1億円以上の赤字見通し

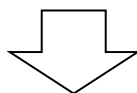
①加入者1人あたりの法定給付費が
 全国平均を超え、13万3千円に上昇。
当健保の1人あたり医療費が増えている!



②前期高齢者給付費/人が上昇したため、
 前期高齢者拠出金が3億7千万円を突破する。
 (H26年度の2倍以上になる見込)
当健保の65歳以上の方の健康状態が悪化!



現在の状況が続けば、毎年1億1千万円程度の赤字が発生するため、
3年後には、保険料率を上げざるを得なくなる!



<今の課題>
 1. 被扶養者の健診受診率向上
 2. 生活習慣を変えて、生活習慣病を改善
 3. 65歳以上の健康維持・向上

早期発見、早期治療、生活習慣の改善

<今後の検討課題>
 1. 料率改定
 2. 付加給付制度の見直し
 3. 契約保養所の見直し

料率改定だけでなく、合わせて検討していく

3. 個人情報に関連する規定の一部を改定

5月30日施行の個人情報保護法改定に伴い、当健保の以下の規定を一部改定しました。
 「個人情報保護管理規定」「機密文書管理規定」「システム等運用管理規定」「文書管理規定」
 「組合事務検査および監査規定」
 詳細については、改定規定をご参照ください。

以上